

## 令和7年度 神奈川県立大和高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上(法令の遵守、服務規律の徹底)	教育公務員としての自覚を持ち、信用失墜行為を未然に防止する。	職員会議や、各種研修を通じて法令順守および服務規律について周知徹底を図り、日常的な注意喚起を行った。重大な違反次案は発生せず、職員のコンプライアンス意識の向上が図られ、概ね目標を達成した。
職場のハラスメント(パワハラ、セクハラ、マタハラ等)の防止	職員一人ひとりがパワハラ、セクハラ、マタハラ等について意識を高め、未然に防止する。	ハラスメント防止に関する研修や情報共有を実施し、相談しやすい職場環境づくりに努めた。日常的な声掛けや相互理解の促進により、未然防止につながっており、良好な職場環境の維持ができた。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	職員一人ひとりがわいせつ・セクハラ行為について当事者意識をもって取り組み、未然に防止する。	服務研修や事例共有を通じて当事者意識の醸成を図った。指導場面での適切な距離感や対応について共通理解を深め、不適切な事案の発生を未然に防ぐことができた。特にセクハラに関する発言等について、本人の自覚が重要であるため、相手の立場を理解するよう意識を高めた。
体罰、不適切な指導の防止	体罰と不適切指導の発生を未然に防止する。	生徒指導に関する共通理解を求め、組織的対応を徹底した。教員としてのアンガーマネジメントの重要性を共有し、生徒に接する際の教員としての在り方について改めて分析、理解することで、事故防止に努めた。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜業務において、公平かつ公正に選抜業務を行い、事故を未然に防止する。	マニュアルに基づく業務遂行と複数人による確認体制を徹底した。チェック体制の強化によりミスの事前防止が図られ、重大な事故なく適正に業務を遂行することができた。
業務執行体制の確保(情報共有、相互チェック体制、業務協力体制)の徹底	作業プロセスの簡素化と効率化、文書や電子ファイルの共有化と引継ぎの徹底を図る。	情報共有の徹底や定期的な打合せにより、業務の見える化と効率化を推進した。相互チェック体制や引継ぎの徹底により、安定した業務運営を行うことができた。
会計事務処理を適正に行い、事故を未然に防止する。	ネットバンキングのシステムを定着させ、現金の管理を極力減らす。	会計処理について、複数人での確認を徹底し、適正な手続きを実施した。ネットバンキングの活用により現金管理のリスク軽減を図り、事故なく適切に処理できた。

## ○ 令和7年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題(学校長意見)

今年度の不祥事ゼロプログラムについては、各項目において計画的に取り組みが実施され、概ね目標を達成していると評価できる。特に、服務規律の徹底やハラスメント防止に関する意識向上が図られ、重大な事案の発生もなく適切な環境が維持された点は評価できる。

一方で、業務の効率化や相互チェック体制のさらなる充実など、引き続き改善の余地も見られることから、次年度においても、継続的な取り組みを期待する。